



# いま、「協同」が創る 2014 年全国集会 in 九州・沖縄 実行委員会ニュース

創刊号 2013 年 11 月 10 日 発行責任者（協同集会事務局長）奥 治

## 10 月 24 日 第 1 回 全国協同集会 in 九州沖縄 実行委員会

場所：TKP 博多駅南会議室（33 名参加）

来年の全国協同集会開催に向けて、これまで 3 回事務局会議を経て、実行委員会が開催され 33 名が集いました。外部からは中央労福協、福岡労福協、JA 福岡中央会、九州労働金庫、グリーンコープ、北九州ホームレス支援機構、シネマアルチの方が参加、そして労協センター事業団、九州沖縄事業本部各エリアの仲間も多数集いました。冒頭永戸連合会理事長より「物質の豊かさではない本当の豊かさを問う、みんなが思っていることを出し合う、



そして、地域をつくる、居場所をつくり一人ひとりに出番がある。そんな地域社会の創造とともに、この九州で開催する意味は、アジアのエネルギーを市民連帯の力としたいし、アジア全体の協同を模索したい。」と挨拶があり、古村連合会専務より全国協同集会主旨説明とこれまでの協同集会の取り組みを紹介。自己紹介では、中央労福協山崎事務局次長より「笹森氏の遺言である“同質の力は和、異質の力は積”を念頭に困窮者の方と一緒に取り組みたい」、グリーンコープ共同体片岡専務からは「働く人たちをワーカーズコレクティブ方式で組織づくりを現在行っています。共に新しい働き方が地域に広がっていくように共に取り組みたい」等、内外参加者での協同集会に向けた思いを意見交換、確認しました。



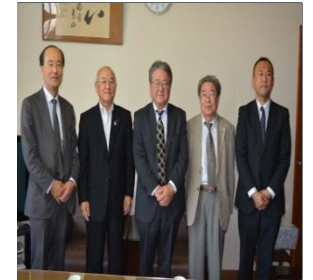
労協センター事業団藤田理事長より「協同集会に向けたこの一年の過程が大事。様々な団体が協同して仕事をつくりまちをつくる。そんな協同集会になっていくよう皆さんの力をお借りし、結集していきたいと思います」、福岡自交労協緒方代表より「貧困格差から情勢に対峙して連帯や共感を発信する集会にしましょう」閉会挨拶で終わりました。

次回協同集会実行委員会 2013 年 11 月 26 日（火）14 時～17

時 福岡県自治会館 201、202 会議室（地下鉄箱崎線千代県庁下車 5 番出入口徒歩すぐ）

## 10 月 17 日 JA 中央会福岡松尾照和会長と永戸祐三連合会理事長が懇談。

全国協同集会 in 九州沖縄に向けた実行委員会呼びかけとあわせて懇談。昨年の国際協同組合年以降、JA 福岡中央会を中心に「協同組合ネットワーク福岡」を結成し、労協（ワーカーズコープ）センター事業団九州沖縄事業本部も参加し、福岡県内の協同組合との関係づくりがはじまっています。松尾会長より「協同組合ネットワーク福岡」協力の御礼を頂き、JA 福岡の活動の歴史と松尾会長の協同組合への思いをお聞きしました。福岡の協同組合間の連携を全国協同集会の成功に向けて確認しました。



## 11 月 4 日 2013 年協同集会 in 福岡 於：九州大学（170 名参加!!）

来年の全国協同集会キックオフ集会と位置付け、8 月より福岡県内全エリア（福岡、筑後、北九州、筑豊）がこの間準備をし 11 月 4 日に開催されました。当日は、福岡県内の組合員が多く参加し、全体会は今話題の



「里山資本主義」の舞台となっている広島県庄原市のまちおこしの実践!!和田芳治氏（人間幸学研究所所長）に「支え合いが紡ぐ地域再生～孤立分断から協同のまちづくりへ～」と題した記念講演をお願いしました。

冒頭から「夢・心のトビラは笑顔で開く♪」と和田さん得意の歌からはじまり、笑顔から人を元気にさせる地域・人づくりのお話と和田語録（死民から志民へ、笑エネ創エネ等々）が連発!!会場は笑いに包まれ、生きた地域づくり、協同を学びあいました。午後は 3 つの分科会に分かれ、第 1 分科会「子育てを支える地域のネットワークづくり」、第 2 分科会「高齢者（光齢者）がつくる元気な地域社会」、第 3 分科会「就労問題から見える地域社会」を行い、170 名の参加者で地域を豊かにする実践報告を学